

令和2年度 学校(自己)評価書 中等部

東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部

5～1は教員評価(5よい 4おおむねよい 3どちらともいえない 2やや不十分 1不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策
学校運営(教頭)	年間教育目標の実践と点検・現状における課題の解決および改善に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の特徴が明確に打ち出され、一人ひとりの教員が、教育方針を理解し、熱心に教育に取り組んだ。</li> <li>・教職員は生徒募集目標達成の為に保護者・地域との連携や情報発信に努めた。</li> <li>・「夢中って、無敵。」のスローガンの下、積極的に学校改革に努め、周囲から高評価を得た。</li> <li>・非常勤講師の割合が高いが、専任教員との意思疎通・連携が高まった。</li> <li>・1年生からのiPadの導入に伴い、教員の更なるスキルアップが必要となる。</li> </ul>	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園・学校の基本的な教育方針を十分に理解し、具体的な目標を持って日々の授業や生徒指導に取り組む。</li> <li>・本校の生徒の頑張りや教育の特色をHPやFBに取り上げ、広報誌の配布の二本立てで実施し情報発信に努める。</li> <li>・業務の合理化を行い、無駄を省き、生徒と接する時間を増やす。</li> <li>・非常勤講師との連携を教科・学年ベースで更に密にする。</li> <li>・iPad活用のための定期的な勉強会の実施。</li> <li>・学年や教科間での定期的な授業見学の実施。</li> </ul>
学習指導(教務主任)	基礎学力の定着と授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火曜・金曜の「朝の学習」とそのほかの曜日での「朝の読書」により、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を始めさせることができた。また「朝の学習」においては、満点でないと放課後再試を徹底しているため、生徒の意識は向上した。</li> <li>・iPadを用いて授業の指導方法など工夫がなされるようになった。</li> <li>・年間2回の授業評価アンケートを通じて授業の見直しを行い、授業改善を図った。</li> <li>・放課後の7・8時間目を設定し、3年生を対象とした習熟度別補習を実施した。基礎学力の向上はもとより、高校進学に対する意識が向上した。</li> <li>・家庭学習の習慣を完全に身に付けさせるまでには至らなかった。</li> <li>・学習のために図書館を積極的に利用させることができなかったが、インターネットを活用した授業が増加している。</li> </ul>	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のつまづき箇所の確認を行い、ICT環境なども利用して、学び直しの機会を定期的に与えることに努める。</li> <li>・研究授業や、相互授業参観などを通じて、授業力を上げる努力をする。</li> <li>・家庭学習課題の内容に図書館を利用しないと対応できないものを取り入れる。</li> <li>・学年主導による計画的な家庭学習課題を提示し、達成度を確認する。</li> </ul>
クラス指導(生徒指導主任)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻・欠席・早退のないクラスづくり</li> <li>・いじめのない、お互いが高めあえるクラスづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任はそれぞれの生徒を良く観察し、個人に対して的確な指導をすることができ、人間関係の構築に努めることができた。</li> <li>・学年主任は日頃から各クラスの特徴や担任の特徴を把握し、必要に応じてアドバイスをするなど、学年のリーダーとしての役割を果たすことができた。</li> <li>・各学年が遅刻や欠席の少ないクラスづくりに努め、遅刻や欠席をするのは特定の生徒だけになった。</li> <li>・諸問題を起こす学年があったが、2学期以降、学年や担任などの指導努力により改善した。</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は、コロナの関係で実践できなかったが、今年こそ福祉関係の講話やスポーツの機会を増やし、地域から歓迎される中・高生であるように、意識付けと指導を日常的に行う。</li> <li>・担任と教科担当は生徒の学習環境をきちんと管理するために情報交換を行い、頭髪、服装の指導も常に心がける。</li> <li>・公共の場でも常に生徒が本校の一員であることを自覚した行動ができるように指導を行う。</li> <li>・いじめに関しては、かなり少なくなっているが、各担任が保護者の対応を生徒部でも協力し、速やかな対応をしていきたい。</li> </ul>
生活指導(生徒指導主任)	あいさつ、礼儀、身だしなみ、美しい環境作りの指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も生徒部として、「挨拶、礼儀、身だしなみ、美しい環境づくり」を目指し活動した結果、生徒に浸透している。しかし、合服期間や調整期間が徹底できず、少しルーズになってしまった。来年度はもう一度あいさつについて見直し、しっかりとした生活環境を再度作りたい。</li> <li>・教職員は校内の設備、整備の指導を意識して行った。いつでも、どこでも常に美しい環境を今後とも継続していくことが必要である。</li> <li>・生徒の頭髪、服装に関しては、生徒の自覚を促すと同時に全教員で同じ視線で統一できた。</li> </ul>	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々に「挨拶、礼儀、身だしなみ、美しい環境づくり」を目標に教育活動を実行していることを認識していただけるように日常的に生徒指導をしていく。</li> <li>・スクールバス利用者の増加により、登下校の自転車マナーについて、概ね良好だが、今後も危険箇所の指導は必要である。保護者による各停留所での送り迎えのマナー違反が激増しており、今後の課題となっている。</li> <li>・担任と教科担当は生徒の学習環境をきちんと管理することを心がけ、始業前の机の配列、挨拶、毎日の清掃活動の指導も常に心がける。</li> <li>・iPad導入に伴い、管理をしっかりと行うことが課題である。</li> </ul>
進路指導(進路指導主任)	翔洋高校への具体的なイメージづくりと進路決定についての早期化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般中学生と共に翔洋高校の入試説明会に参加することで、新たな視点での翔洋高校イメージづくりを進めた。</li> <li>・中等部生のみを対象とした入試説明会では、高校教頭・教務主任・進路主任と多くの教員に発信をしてもらい、見えない部分の掘り起こしをつとめた。</li> <li>・日常的に進路について担任との面談を繰り、進路希望について確認をしていった。最終的には多くの単願者が受験した。</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に進路説明会(翔洋高校及び東海大学のアピール)を実施すると翔洋高校への進学意識が更に増すものと思われる。</li> <li>・中学2年での海洋学部・湘南校舎への見学などを行うと翔洋高校への進学意識が更に増すものと思われる。</li> </ul>
(生徒特別活動主任)	生徒会活動と部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への取り組みに対する評価は、生徒、保護者、教職員ともに共通して高い。</li> <li>・昨年はそれぞれ委員会活動の仕事に工夫が必要と言う課題に対して、委員会の仕事内容の見直しを実践することができた。</li> <li>・生徒会選挙については、昨年に続き、適切な学校のリーダーを選出することができ、大きな改革ができた。</li> </ul>	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強と部活動の両立、部活動より勉強、と言いながらも学習への取り組みはまだ十分ではなく、今後も課題である。</li> <li>・昨年に続き、部活のリーダーが生徒会に関わることとなり、大きく変化することを期待したい。</li> </ul>
研究・研修(研究主任)	公開授業の定期化及び教員研修を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度はコロナ禍のため保護者向け公開授業を中止した。</li> <li>・教員の授業力向上を目的に、学期末ごと授業評価アンケート実施(生徒対象)。その授業評価アンケートの結果からベストティーチャーを決定した。</li> <li>・アンケート上位者の授業見学を行い、授業力向上に努めた。</li> <li>・教員研修の実施。①授業見学(チェックシートを使って、担当者にフィードバック)②道徳教育への取り組み③学校教育にSDGsを導入。</li> <li>・総合探求の活性化を目的に、「高校現代文明論」の公開授業で他の付属高校と「キャリア教育」について研修会を行う予定だったが、コロナ禍のために中止した。</li> <li>・コロナ禍ではあるが、学校報を月1回発行(6月以降)することで、生徒・保護者へ校内の様子を伝えることができた。また中等部生の活躍を紹介する「羽ばたき」を発行。PTA広報誌「海濤」の制作では広報委員にご尽力いただいた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の指導力向上を目標に、授業見学やICTを利用した教員対象研修サイト「Find! アクティブ・ラーナーズ」を積極的に利用して、定期的な教員研修を実施することで、教員の更なるスキルアップを目指す。</li> <li>・総合学習のあり方について、本校では「現代文明論」の果たす役割が大きい。道徳教育やSDGsなど社会問題と関連付けて考えるなどさらに内容の充実を図る。</li> <li>・「シズクリ」による探究活動を導入して、総合探求の充実を図る。</li> <li>・ボランティア活動及び防災教育など、地域に開かれた取り組みを積極的に展開して行く。</li> </ul>
その他	生活習慣プロジェクト実施			